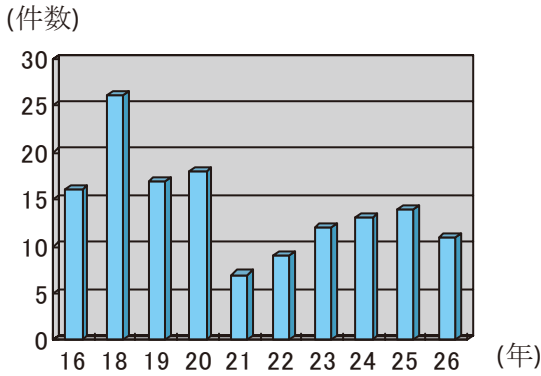




過去10年の火災件数



昨年、有田川町内での火災件数は11件でした。出火原因で最も多いのは、たばこゴミなど、焼却からの出火となっています。また、ここ数年、有田川町内で就寝中の住宅火災で死者が発生し、昨年も2名の方が亡くられました。火災の早期発見や被害の軽減のため、まだ住宅用火災警報器を寝室に設置していない住宅は、早期に設置しましょう。

昨年の火災件数

有田川町消防本部
吉備金屋消防署
清水消防署

52-5950
52-5950
25-1243

消防だより

昨年の出動等(累計)

火災出動………11件
救急出動………1304件
救助………16件
(平成26年12月31日現在)

緊急車両の通行にご協力を!



有田川町内では、庭木や生け垣、みかんの枝などが、道路へ張り出し、緊急車両の通行に支障をきたしている箇所が見受けられます。

救急車や消防車は、町民のみならず、一刻を争う緊急時に使用するものです。樹木などの管理を適切に行っていただき、緊急車両がスムーズに通行できるようにご協力をお願いします。

救急車の規格



あなたがかけた119番 緊急ですか本当に?

救える命を救うために、救急車の適正利用をお願いいたします。

全国的に救急件数は増加しており、有田川町でも同様です。そのため、本当に救急車が必要な人に対して、すぐに出勤できない事があります。通常、119番の救急要請を受けると、現場から一番近い救急車が出動しますが、その近くにあるはずの救急車が出動している場合は、遠方にある別の救急車が出動することになったり、近隣の消防本部に応援要請し出動してもらうなど現場への到着に時間を要してしまいます。

このように、救急車の出勤要請が増えることにより119番を受けてから救急車が現場に到着する時間が遅れ、救える命が救えなくなる場合があります。

があります。

119番通

報する前に、

救急車が本当

に必要なか、自

家用車やタク

シーなど一般

の交通機関を

利用できないか、もう一度考えてください。

また、救急車が現場に到着しても、傷病者の容態を観察し救急車で緊急に搬送しなくても良い場合には、本人や関係者の方々に状況を説明し、了承を得て不搬送とする場合もありますのでご了承ください。

救急車はタクシーでは、ありません。
救える命を救うために



緊急時の医療機関電話番号案内サービス (TEL 073-4266-1199)

救急車を呼ぶほどでなく、どこの医療機関にいったらよいかわからない。こんなとき、24時間体制で、最寄りの医療機関を案内します。

(歯科の診療時間外案内は不可)

子供救急相談ダイヤル TEL #80000 (携帯電話・プッシュ回線)

毎日19時から23時まで子供の急な病気やけがの相談に看護師(必要に応じて医師)が応じます。

※ダイヤル回線・IP電話等からは、TEL 073-431-8000へ
・わかやま情報医療ネット (<http://www.wakayama-qi-net.jp/>)



あなたの命と財産を守るため 付いていますか? **住宅用火災警報器**

「すべての寝室と階段(2階以上の階に寝室がある場合)に設置が義務付けられています。」